

OTANIing

大谷の「今」を伝える。「未来」へ繋げる!

智身館ウッドデッキから西館を望む

2020.5

vol.220



私は世界を守るための大事な力を持っている

学校長 飯山 等

休校となってきみたちのすがたが見られない間、大谷の校歌のフレーズがしばしば心に浮かんできました。
♪これぞ学び舎ああたのし、♪これぞ友だちああゆかし、♪これぞ古里

ああうれし、♪これぞ安らぎああやさし。〈学び舎〉〈友だち〉〈古里〉〈安らぎ〉として存在して機能する。そして、《たのし》《ゆかし》《うれし》《やさし》と感受される。その温かさを、学校という存在の意義と使命の根幹とする。この疫禍はあらためて私に、そのことを真正面に据えてものごとを考えよと教えてくれました。皆さんにとってどのような毎日になっていますか。分散登校しての講堂での入学式、マイク放送による始業式、それ以来、学校に行きたくても行けない、友だちと一緒にすごしたくてもできないという状態をながく強いられてきましたが、ようやく明るみの方向を展望できるところまで来ました。皆が集い合って時間と場を共有する。共有するとは、英語では、common(共有)ate(する)であり、それはcommunicateの語源だと辞書にありました。communicateとは、何よりもまず、そしてその有りようを貫いて「気持ちを通い合わせること」です。時と場を共にすることから、気持ちを通い合わせるあり方がわたしたち一人ひとりに開かれるのです。まだまだ不安が払拭されたわけではありませんが、医療体制の備えを確立して、わたしたちが生活の有りように気をつけることで、「平常」に復していこうというものです。わたしたちにできることはあります。お互いを大切にし合う心をもって、しっかりとわたしたち一人ひとりの生活の形にしていきましょう。

私の好きな科学者の中村桂子さん(JT生命誌研究館名誉館長)のインタビュー記事(朝日新聞5/6)が目にとまりました。「科学技術の時代に生きる私たちはつい、専門家がコンピューターな

どの機械的な技術を用いてすぐに問題を解決してくれることを期待してしまいがちです。けれど、新しいウイルスの感染を防ぐための最も基本的な手法は、手洗いであることは昔から変わりありません。手洗いは、保育園や幼稚園でも習うことで、誰もができます。誰かが守ってくれるわけではなく、一人ひとりが自分の身は自分で守っていくことが重要です。このことも、生き物としての原点を思い出させてくれます。しかも、手を洗えば、自分を守るだけでなく、身近な人を守ることになり、それを全員が行えれば、社会全体を守ることにつながります。普段、自分の行為が社会とつながっていると実感できることは、めったにありません。社会には格差や貧困といった問題がありますが、私などは、自分一人の力は小さく、何もできないと無力感にさいなまれることが多々あります。手洗いをすることで『私は世界を守るための大事な力を持っている』ということに一人ひとりが気づき、実感できることは、コロナ禍での大切な学びだと思います。拡大するウイルスに国境は関係ありません。パンデミックの時代には、経済面だけでなく、世界が一体化するという本当の意味でのグローバル化が求められます」とありました。日本赤十字社がウェブサイトで公開した「ウイルスの次にやってくるもの」と題された動画は、ウイルスへの恐怖が広がって人と人とが互いに傷つけあう状況を描いて、「そのような恐怖は、ウイルスよりも恐ろしいかもしれない」と警鐘を鳴らすものでした。排除と差別に傾いてしまう有りよう(それはしばしば正しさを声高に叫ぶ中から生じてきます)から、私たちは何時になれば脱することができて、手を取り合うあり方を、自然な有りようとして確立することとなるのでしょうか。今後、どのような事態となるかは予測不能です。でも、もし、辛い事態になったとしても、「気持ちを通い合わせる」私たちであることを失うことのないようにしたいものです。



大谷中学高等学校
OTANI JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

京都市東山区今熊野池田町12 TEL:(075)541-1312 <http://www.otani.ed.jp>
編集兼発行責任 宗教・国際センター長 山田 友能



2020年度より副校長に就任いたしました梅垣道行です。微力ながら大谷の発展のために力を尽くして参りたいと念願しております。また、これまでの役職の入試広報センター長も兼任ということでございますので、今までと同じく、生徒募集のお仕事にも携わって参ります。説明会やパンフレット等についての様々なご依頼ご協力につきましても、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。デスクは中学職員室と入試広報室に設けておりますので、お気軽にお声かけください。多くのみなさんとたくさんお話しができればと思っております。

今春、コロナ禍による休校措置をとってから、早いものでこれこれ3ヶ月の月日が経ちました。私は現在のところ、休校対策対応のために副校長に就任したかのような毎日を送っていますが、生徒のみなさんや保護者の皆様におかれましては、私以上に今までに経験したことのないような生活の変化の中で、日々過ごしておられることと思います。

自宅でのオンライン学習が始まり約3週間が過ぎました。生徒のみなさんの中には慣れと疲れが出始める頃ではないかと思ひます。保護者の皆様におかれましては、慌ててICT機器を揃えてくださったご家庭や、お仕事や家事が終わってからお子さまの課題配信にご協力くださっている方も少なからずおられることと拝察します。本当にありがとうございます。そんな中、5月末の今週から、学年によってはクラスの人数を半分に分けてではありますが、分散登校を開始いたしました。一斉登校まであと一息。マスク越しでも、生徒のみなさんの笑顔が、やっと学校に戻ってきたことを実感できた今週でした。

ピンチはチャンス。学校長からよく発信されるメッセージです。いつもと違う緊急時に、また、スポーツ競技でいえば相手にリードされている時に、色々考え行動できる人になって、いや、なろうとしてほしいと思ひます。何が正解かわからない時に「だったらこうしよう!」と思ひて動くことを増やしてほしいと願っています。

私も幼い頃のこんな経験があります。テレビのニュースで大きな台風が来ることを知り、家業のお店の仕事で忙しい両親は、変に落ち着いているというか、関心が薄いというか……。子供ながらにまずいと思ひた梅垣少年は、ない知恵をしばった末に、かまぼこ板に釘を打ち、ろうそくを刺しただけの簡単なものでありましたが、停電に備えた簡易の照明器具を作りました。最初のう

ちは、家族から薄ら笑いというか、そこまでしなくても大丈夫とか、停電になったとしても寝ているうちだとか……。褒められるような行動ではなかったかと、いささかしよんぼりしたのを覚えています。夕食を終え、一家団欒でテレビを観ている時、9時半ごろでしたか、突然テレビが消え照明が消え、真っ暗になりました。待ってましたとばかりに、ろうそくかまぼこ板を取り出す少年。その炎の向こうに見える母親が「助かるわ……」と言ひて化粧を落とす姿を見て、家族貢献した実感をかみしめた記憶があります。それ以来、台風が近づく情報を耳にしますと、どこかで胸騒ぎがするよな気持ちになってしまう自分が見え隠れします。

今年の4月後半のある日、とある卒業生から学校に1本の電話がかかってきました。休校中、ほとんど^{ひとけ}人気のない職員室でその電話を受けたのは、偶然にもその日が副校長としての当直勤務で、尚且つ中学時代3年間彼の担任だった私でした。40歳過ぎでいわゆる中小企業の社長さんをしている彼は、もしかすると社会的に苦しい立場に立たされている状況かもしれません。そんな彼からの依頼は次のよなことでありました。元気にやっています。確かに会社は苦しくないことはないが、それはさて置き、仕事の都合でマスクがまとめて手に入ったので、色々な施設などに配っている。近くの病院や学校にも配っているのだが、ふと母校大谷を思ひ出して……。もちろん、商売ではなく無償配布。後日、「全校生徒の半分くらいしかありませんが」と言ひて、後輩のみなさんたちのためにわざわざ届けに来てくれました。

大谷は、大谷という場所で学ぶための学校です。今回のことで、オンライン学習のよいところを知る機会となりましたが、集うことでの学び、Zoomでは読み取れない表情や空気も必要とするのが、本来の学校です。教室でクラスメイトと授業を受け、クラブ活動をし、わかった人がわからない人に、できる人ができない人に手を差し延べ、みんなが成長していく場でありたい。それぞれの関わりの中で影響を受けて与えて、生徒も保護者も先生もそれぞれが前進していく場、そんな大谷でありたいと願っています。

早くみなさんとお会ひしたいです。



退職教職員

【専任教諭】

高木 孝泰(保健体育)

乾 文雄(宗教・英語)

【契約講師】

熊木 哲(社会)

長岡 美弥子(国語)

ブラウン 香(英語)

林 瞳(数学)

柳澤 佑樹(社会)

エリザベス リスコ(英語)

松井 有美(情報・数学)

【非常勤講師】

磯野 欣彦(英語) 原 貴司(数学)

廣瀬 克己(英語) 卯滝 均(理科)

加護 栄一(社会) 植山 兼次(社会)

築山 理砂(家庭) 森田 茂(社会)

徐 希寧(ハングル) 渡邊 里佳(理科)

浅井 航洋(国語) 木村 陽佑(社会)

神村 千賀子(社会)

※高木孝泰先生は契約講師として、乾・長岡先生は非常勤講師として今年度もお勤めいただきます。



新任教職員

【常勤講師】

▶ 杉原 一輝(英語)

大谷中高等学校の皆さん、初めまして。ひょっとすると、「あっ!」と思い出してくれる人もいるかもしれません。2年ほど大谷を離れて、今年度より縁あって再び大谷で皆さんと過ごせるようになりました杉原一輝と申します。皆さんとは勉強に、学校生活に、部活にいろいろなところで楽しい時間を共有していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

▶ 菊池 晃平(理科)

はじめまして。今年から大谷で勤務することになりました、菊池晃平と申します。理科の教員であり、今年はⅣ学年の化学基礎とB、Ⅴ学年の化学の授業を担当することになっております。実はまだ教員としては1年目でありまして、昨年までは京都のとある大学で学生をしておりました。大学でも化学を専門に研究をしておりましたのでその経験を生かしていきたいと考えております。また、部活動は吹奏楽部の顧問を務めることになりました。私自身、中学高校と吹奏楽に没頭しておりましたので、そこで得た知識などを踏まえてサポートしていきたいと考えております。

▶ 浦野 真樹(社会)

中学Ⅱ年2組担任。社会科担当です。小・中・高と野球をやっていました。趣味はバイクに乗ることです。毎日バイク通勤しています。元気だけは負けません。よろしくお願いします。

【契約講師】

▶ 樋口 由美(国語)

I学年1,2組の国語乙、Ⅱ学年3,4組の古典、Ⅳ学年3,4組の現代文を担当する樋口です。去年から俳句を習い始めました。皆さんと一緒に日本語の豊かな世界を深めていけたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

▶ 林 道子(社会)

4月からこの学校で教えることになりました。よろしくお願いします。旅行に行くのが大好きです。只今、47都道府県制覇2週目です。今年はA・C・中Ⅱの授業と陸上競技部の顧問を担当します。一緒にがんばっていきましょう。

▶ 石田 雅也(数学)

今年度新任の石田です。教科は数学を担当します。学習支援コーディネーターという立場で、主に自習室等でみなさんに接する機会があると思います。普段の宿題や模試などとは違って、息苦しいときもあるかもしれませんが、学びには本来、楽しみ、喜びがあります。数学をはじめとして、学びのそのような側面も伝えていけたらと願っています。

▶ 木本 裕二(英語)

皆さんこんにちは。木本裕二と申します。学習面で皆さんと多く関わることになります。気軽に話しかけてもらって大丈夫です。よろしくお願いします。

▶ 増田 智也(社会)

学習支援コーディネーターとして、今年から大谷高校に来ました。趣味はバスケットボールで、今も社会人バスケをしています。生徒の皆さんの学習を支えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

▶ 穂波 慶一(社会)

みなさん、こんにちは。社会科(日本史・倫理)を担当する穂波慶一です。部活は水球部の顧問をしています。今年はコロナの影響で、みなさんの顔をまだ拝見できていませんが、早く学校で会える日を楽しみにしています。

▶ 中川 卓(理科)

はじめまして。中川卓です。授業は理科を担当します。授業を担当する生徒はもちろん、担当しない生徒とも関わることがあると思うので、よろしくお願いします。みなさんと会える日を楽しみにしています。

▶ 中澤 航佑(社会・英語)

新任の中澤航佑です。担当科目は社会と英語になります。またバドミントン部の顧問としてもみなさんと関わることになります。現在このような大変な状況ですが、私もいろいろな面でみなさんのサポートをしていきますので、よろしくお願いします。

▶ 宮田 結(音楽)

皆さん初めまして。今年から大谷で音楽の授業を担当する宮田結です。教師になって1年目なので分からない事が沢山ありますが、皆さんと共に学び成長していきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。

▶ 朝山 亮(数学)

数学科の朝山です。大学まで16年間水泳をしていて、趣味はスポーツをすること、見ることです。教師一年目なので、皆さんと一緒に学んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

▶ アミリア テン ジン イー(英語)

Nice to meet you! I'm Amelia Tang, but call me Mia. I'm from Singapore. I love nature and sports. Aside from English and Japanese, I speak Mandarin, Cantonese and some French too. I enjoy talking with people, so feel free to ask me questions or talk any time. Looking forward!

初めまして。アミリア・テンと申しますが、皆さんミヤと呼んでください。シンガポールから来ました。スポーツと自然が大好きです。英語と日本語以外、中国語、広東語とちょっとフランス語も話せます。コミュニケーションをとることが好きなので、出会ったら声をかけてくださいね。お待ちしております。よろしくお願いします。



相談室より

生徒・保護者の皆様のご相談に応じています。相談内容に特に制限はありませんので気軽にご利用ください。

※現在、相談室にて直接お会いできない状況が続いておりますが、可能な限り電話でお話をお伺いしますのでご連絡ください。学校が再開いたしましたら、相談室も感染対策を講じた後、通常に戻る予定です。それまでの間、皆様にはご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

☐連絡先 大谷中・高等学校 相談室／TEL:075(541)1312(代表)

☐カウンセラー(臨床心理士)／上村 均・矢本洋子・姜 栄子

ハラスメント・人権相談

本校の相談窓口は、山田友能教諭、峯松容子教諭です。



「OTANing 220号」をお届けします。本来、この機関紙は定期考査の成績発送に同封するもので、年に5回、発行しています。今回は従来のような紙ベースではなく、Classroom等を使つての配信となりました。学校再開に向け、何よりも安心・安全に心を配り、さまざまなケースを想定しながら、全教職員で生徒諸君の登校を心待ちにしています。